

The 2 Chome Times 平成29年4月号

NO1のプレミアムストリートをめざして




NO227.

2017・4・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス4月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

 フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★ハイサイフェア前夜祭とストリートミュージアム 第12回收蔵式典

4月8日(土)に第12作目となる陶芸家國吉清尚(くによしせいしょう)さんの「珊瑚文焼メ壺(さんごもん



やきしめつぼ)」の収蔵式典がありましたが、その前日に「沖縄GOGO! ハイサイフェア in KOBE 三宮」の前夜祭が、教会カフェ、フロインドリーブ本店で開催され、厳かでお洒落な空間が皆さんを迎えました。

前夜祭には、城間那覇市長、上原糸満市長、花城美ら島財団理事長ら沖縄から40名が、神戸からは岡口神戸市副市長、新居ANA関西支社長はじめ街衆45名が参加し、沖縄と神戸の交流を深めました。席上、糸満市が「大

度(おおど) 浜海岸」に計画している「ジョン万次郎上陸之地記念碑」建立のための寄附金17万円を久利計一協議会会長から上原糸満市長に手渡しました。この地は、島守の塔のある平和記念公園からすぐ近くにあり、久利会長は、「来年からKOBE夢・未来号で沖縄を訪れる子供さん達にも観てもらい、ジョン万次郎のように世界へ羽ばたく視野、夢を未来に持ってもらいたい」と話しました。上原市長も「来年2月の完成予定で、多くの人に訪れてほしい」と応じました。美ら島財団からは、豪華な洋ランが届けられ、会場は一段と華やかなムードに包まれ、大いに盛り上がった前夜祭になりました。そしてその流れのまま翌日の収蔵式典となり、タイムズの先月号でもご紹介した陶芸家國吉清尚氏の作品が久元神戸市長、城間那覇市長、上原糸満市長、陶芸家國吉真由美氏(清尚氏御長女)、それに夢・未来号に参加の子供さん達等々の手によって除幕されました。翁長沖縄県知事の祝電も届き、國吉真由美氏の御挨拶の後、久元神戸市長と城間那覇市長からご祝辞を頂きました。その後ライブへと移り、沖縄で子供さん達がお世話になっている「うたバスによるミニコンサート」や「沖縄エイサー」などが行われ大いに盛り上がりました。ますます充実するストリートミュージアムにこれからも御期待下さい!



★“作陶の貴人・國吉清尚” “友クニヨシ、父セイショー” 講演と対談

平成29年4月8日沖縄の陶芸家國吉清尚さんの作品を三宮センター街2丁目の“ストリートミュージアム”に収蔵しましたが、これに合わせて、神戸港就航150周年、沖縄航路130周年記念の一環として、神戸と沖縄の文化交流促進の為にゆかりの方々をお招きして講演会と対談が行われました。場所は神戸国際会館で、講師として早稲田大学文学学術院文化構想学部教授の丹尾安典(たんおやすのり)氏にお越し頂き、國吉さんについてエピソードを交え熱く講演して頂きました。國吉さんの名が広く知れるようになったのは丹尾先生が開催に携わった2006年の早稲田大学において開催された“沖縄の壺体・國吉清尚”でありました。ミリ単位にこだわって作品を展示し、大盛況を得たそうです。その際の展示作品もスライドで見ることが出来ました。その後、NHKの日曜美術館に取り上げられて全国に知れ渡るようになりました。國吉清尚は秦秀雄氏とも交流があり、秦は骨董の目利きとしては有名な人物で白州正子の師匠でもあり、陶芸に造詣が深く、民芸運動華やかかなりし頃活躍した人です。そういう関係から日本民藝館の沖縄の作品の多くは國吉さんが集めたそう



です。秦は國吉さんの土瓶に惚れたそうですが、後半からはよりアーティストらしい作品を作りだしたそうです。約1時間に亘る講演の後、丹尾安典先生、比喜正詔（ひがせいしょう）氏（公益財団法人沖縄協会専務理事）、そして國吉さんの御長女の真由美さんの3名による対談が行われました。泡盛を交わしながらの和やかな対談で、それぞれの國吉清尚についての熱い思いを語って頂きました。その中で「清尚は沖縄の宝であり、今注目を浴びていることに驚いている。私達の清尚から離れていっている感じがして寂しい気もするが、全国に知れ渡った今では仕方が無い。これからも彼は沖縄の宝で有り続ける」との言葉が印象的でした。また、街の宝物が増えました。

★行って来ました

先日東京出張の際に国立美術館で開かれていたミュシャ（1860～1939）展に行きまして。フランス、アール・ヌーヴォーの代表的な画家として知られる彼の代表作はもちろん



ですが、この展示で一番の注目を集めているのは、ミュシャが50歳のときに故郷のチェコに戻り、晩年の約16年を懸けて制作した一大プロジェクト『スラヴ叙事詩』。ミュシャのチェコ国民、スラヴ民族としての誇りと想いが描かれているこの全20作が公開されるのは、チェコ国外では初めてだ



そうです。写真にある様に縦6メートル横8メートルのキャンパスに圧倒的な迫力で描かれているこの絵には彼のルーツであるスラヴ民族の苦難と栄光の歴史が描かれており感動の一語でありました。東京に御寄りの際は是非一度ご覧になってみる価値はあると思います。お奨めです。2017年6月5日（月）まで現在開催中！

★新店舗紹介 DIFFERENCE オープン

センター街2丁目に新しい仲間が加わりました。それがオーダースーツのお店、DIFFERENCEです。マネージャーの佐々木さんからメッセージをお預りしていますので、ご紹介します。

「DIFFERENCEは今までのスーツ作りとは全く違う、革新的なスーツブランドです。お一人お一人の好みに合わせて最適化したサービスのご提供を目指しております。また店内のサービスだけでなく、ご予約・ご来店・オーダー発注・お渡し、更にはその後までのあらゆる過程を楽しんで頂けるシステムとなっております。サイズデータや購入データをショップ任せではなく、ブランドアカウントをお作り頂くことで、お客様自身のパーソナルデータを基にインターネットでオーダー体験を楽しんで頂けるようなスタイルになっています。オーダースーツはなんとなく敷居が高いイメージがあると思います。それを誰もが分かりやすく、簡単にいつでも自由にオーダーを楽しんで頂けるオーダーシステム。ショップも一つのツール、インターネットも一つのツール、二つをお客様の好みに合わせて自由にご利用して頂けるブランドサービス。それがDIFFERENCEです」とのことです。



何か新しい体験ができそうなワクワク感一杯の楽しそうなショップですね。今までのスーツに満足できていない紳士諸君、これはDIFFERENCEに行くしかないですね！

ディファレンス神戸三宮店；神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館1F-123

Tel.& Fax.078-325-1821 home page <http://difference.tokyo/>

★編集後記

8日に行われた収蔵式典の後でアートスクエアの舞台上で行われた沖縄の方々によるパフォーマンスは見事で、周りの聴衆の方々からも拍手喝采を浴びていましたが、特にエイサー演



舞は気迫の籠った素晴らしいものでした。沖縄で活動する「那覇太鼓 with KOHANA」の小学生から高校生が中心になってライブを行って下さいました。沖縄エイサーは本来、お盆の時期に現世に戻って来る祖先の霊を送迎するため、若者達が歌と囃子に合わせ地区を練り歩くものだそうです。最後の官選知事の故島田叡さんも沖縄の苦難の歴史に想いを馳せながら、特設ギャラリーから御覧になっておられたと思いますが、彼らの島人（シマンチュ）としての誇りも強く感じられ、胸に迫るものがありました。これからも神戸と沖縄がお互いの文化を理解しながら絆が深まれば嬉しいですね。

